



学校だより

令和7年1月7日
横浜市立豊田小学校
1月号

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

一年の計は元旦にあり

校長

令和7年の干支は「乙巳（きのとみ）」。「乙巳（きのとみ）」の年は、多くの人にとって成長と結実の時期となる」とありました。「乙」は未だ発展途上の状態を表し、「巳」は植物が最大限まで成長した状態を意味するようで、この組み合わせは、これまでの努力や準備が実を結び始める時期を示唆しているとのことでした。何かいいことがたくさんありそうな予感がしますね。

「1年の計は元旦にあり」。お正月は、夢や目標について話題となることが多くあります。わたしは日頃から、子どもたちには大きな夢をもってほしいと願っています。それもできるだけ大きな夢です。夢は大きくても、大きすぎることはありません。困ることもなければ、人に迷惑をかけることもありません。なんといってもお金も一切かかりません。どうせならびっくりするくらい大きな夢をもってほしいですね。夢は、希望や目標、進歩につながっていきます。夢が描けたら、夢をかなえるために何ができるか考えてみてほしいです。そして努力につなげてほしいです。

努力している人は、希望を語ります。なぜなら夢に近づいているからだそうです。努力を怠る人は、不満を語ります。なぜなら夢から遠ざかっているからだそうです。

今年は「夢」について、子どもたちに伝えられたらなと考えています。豊田小学校の子どもたち皆が「わたしには、夢があります！」と堂々と言えるようになるといいなと思っています。

流通評論家の吉田貞雄さんという方の「夢の八訓」がネットで紹介されていました。

夢の八訓

「夢」のある者には「希望」がある
「希望」のある者には「目標」がある
「目標」のある者には「計画」がある
「計画」のある者には「行動」がある
「行動」のある者には「実績」がある
「実績」のある者には「反省」がある
「反省」のある者には「進歩」がある
「進歩」のある者には「夢」がある

(吉田貞雄 1940~1999 流通評論家)